みやぎのだより No.122

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和３年５月20日

宮城県酪農団体集乳合理化に伴う広域集乳拠点オープニングセレモニー

CONTENTS

宮城県内酪農団体集乳合理化の実施について …… 1
令和２年度　生乳需給状況について …… 3
令和３年度　組合事業の内容について …… 5
支部・青年部・婦人部の活動について …… 7
酪農後継者等育成支援 …… 7
デントコーン栽培のポイントについて …… 8
飼料情勢 …… 9
暑熱対策　添加物キャンペーンのお知らせ …… 10
理事会通信 …… 10
売りたし・買いたし …… 11
人事のお知らせ …… 11
編集後記 …… 11

宮城県内酪農団体集乳合理化の実施について

県内の酪農３団体で構成する「宮城県酪農団体合理化検討会」は、集乳体制の合理化に向け、集乳施設及び集乳路線の集約化を進めた他、岩手県南部地域から一部生乳を受け入れるなど県域を超えた合理化を図り、４月１日より新たな集乳体制で業務をスタートしました。

全国的に酪農家の高齢化と担い手不足等により、生産基盤の弱体化が深刻であり、今後それに伴う集乳施設運営費や集乳経費等が生産者の重荷になることが懸念されることから、平成28年８月にみやぎの酪農協、宮城県酪農協、全農宮城県本部が協力して同検討会を設立しました。

今回の合理化では、県内５ケ所あった集乳施設の統廃合を行い、３ケ所（内１施設は業務委託）に集約し、また、集乳路線の再編整備にあたっては、錯綜路線を中心に約10路線の削減がなされました。

新たな集乳体制での業務開始にあたり、３月31日に仙北ＣＳにてオープニングセレモニーを開催し門出を祝いました。

伊藤一成会長は「今回の集乳体制の合理化について、酪農団体の垣根を超えた集乳体制の構築と課題解決に５年の歳月を要したが、合理化により集乳経費等の削減だけでなく、酪農団体間の協力体制や集乳事業者との連携も更に進んだ。多方面で酪農家のサービス向上に繋げたい。」と挨拶されました。

式典には、宮城県農政部畜産課企画管理班　門脇班長、東北生乳販連　安部専務らが来賓として出席されました。

なお、今後は更なる効率化・合理化が図れるよう集乳事業者との調整会議を定期的に開催いたしますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

今回の合理化による集乳事業者、路線数、生産者数は右記の通りです。

【伊藤会長の挨拶】

【テープカットの様子】

【みやぎの酪農協 仙北ＣＳ】

集乳事業者	集乳路線数	生産者数
株式会社 みやぎの運送	14	105
有限会社 岩倉急送	4	46
合　　計	18	151

【みちのくミルク 株式会社】

集乳事業者	集乳路線数	生産者数
株式会社 みやぎの運送	11	88
有限会社 岩倉急送	6	55
合　　計	17	143

【みやぎの酪農協 仙南ＣＳ】

集乳事業者	集乳路線数	生産者数
岩手雪運 株式会社	18	134

令和２年度　生乳需給状況について

１. 全国

令和２年４月～３月の受託乳量は7,068,204㌧、前年同期比101.1％と前年並みとなっております。地域別には、４月～３月計で北海道は２％増加となっております。都府県は４月～３月計で前年並みで推移しております。

令和２年度 全国生乳受託実績

（単位：㌧、％）

地区名＼四半期別	第１四半期	前年比	第２四半期	前年比	第３四半期	前年比	第４四半期	前年比	令和２年度計	前年比
北　海　道	1,018,440	102.5	1,007,143	102.4	985,782	102.3	995,735	100.8	4,007,100	102.0
都　府　県	802,934	100.3	728,579	100.2	750,232	100.6	779,359	98.9	3,061,104	100.0
全　　国	1,821,374	101.5	1,735,722	101.5	1,736,014	101.6	1,775,094	100.0	7,068,204	101.1

２. 東北

４月～３月の受託乳量は504,681㌧、前年同期比99.5％となっております。

令和２年度 東北生乳受託販売実績

（単位：㌧、％）

県＼四半期別	第１四半期	前年比	第２四半期	前年比	第３四半期	前年比	第４四半期	前年比	令和２年度計	前年比
青　　森	19,173.0	108.0	18,521.0	105.4	18,368.0	102.7	17,358.0	94.2	73,420.0	102.5
岩　　手	49,128.0	100.8	47,209.0	99.1	47,445.0	100.2	47,537.0	98.3	191,319.0	99.6
宮　　城	28,287.0	101.2	26,430.0	100.5	26,642.0	99.9	27,071.0	97.1	108,430.0	99.7
秋　　田	6,074.0	101.7	5,514.0	96.8	5,446.0	96.7	5,672.0	95.4	22,706.0	97.7
山　　形	12,792.0	98.3	11,665.0	95.6	11,715.0	98.1	12,070.0	96.4	48,242.0	97.1
福　　島	15,897.0	99.6	14,779.0	98.0	14,861.0	98.7	15,027.0	95.6	60,564.0	98.0
計	131,351.0	101.5	124,118.0	99.7	124,477.0	100.0	124,735.0	96.8	504,681.0	99.5

３. 用途別販売実績

東北の用途別販売実績は、４月～３月の飲用牛乳向け368,340㌧、前年同期比98.8％、特定乳製品向け48,045㌧、前年同期比109.3％となっております。その他の用途別については、はっ酵乳等向け80,050㌧、前年同期比99.1％、チーズ向け1,799㌧、前年同期比94％、生クリーム等向け6,447㌧、前年同期比82.3％となっております。

令和２年度 東北用途別販売実績

（単位：㌧、％）

用途＼四半期別		第１四半期	前年比	第２四半期	前年比	第３四半期	前年比	第４四半期	前年比	令和２年度計	前年比
総受託販売乳量		131,351.0	101.5	124,118.0	99.7	124,477.0	100.0	124,735.0	96.8	504,681.0	99.5
飲用等向け	飲用牛乳向け	91,302.0	96.9	94,405.0	100.7	93,822.0	99.9	88,811.0	97.7	368,340.0	98.8
	はっ酵乳等向け	21,781.0	100.4	20,249.0	98.1	18,398.0	100.3	19,622.0	97.8	80,050.0	99.1
乳製品向け	特定乳製品向け	16,419.0	145.4	7,391.0	93.9	9,725.0	107.6	14,510.0	92.2	48,045.0	109.3
	生クリーム等向け	1,442.0	85.0	1,559.0	87.7	2,047.0	75.1	1,399.0	85.6	6,447.0	82.3
チーズ向け		407.0	82.0	514.0	109.8	485.0	98.6	393.0	85.8	1,799.0	94.0

4. 宮城県

４月～３月の受託乳量は108,428㌧、前年同期比99.7％と前年より0.3％減少しております。また、３月の出荷戸数は427戸と前年より15戸減少しております。

令和２年度 宮城県生乳受託販売実績

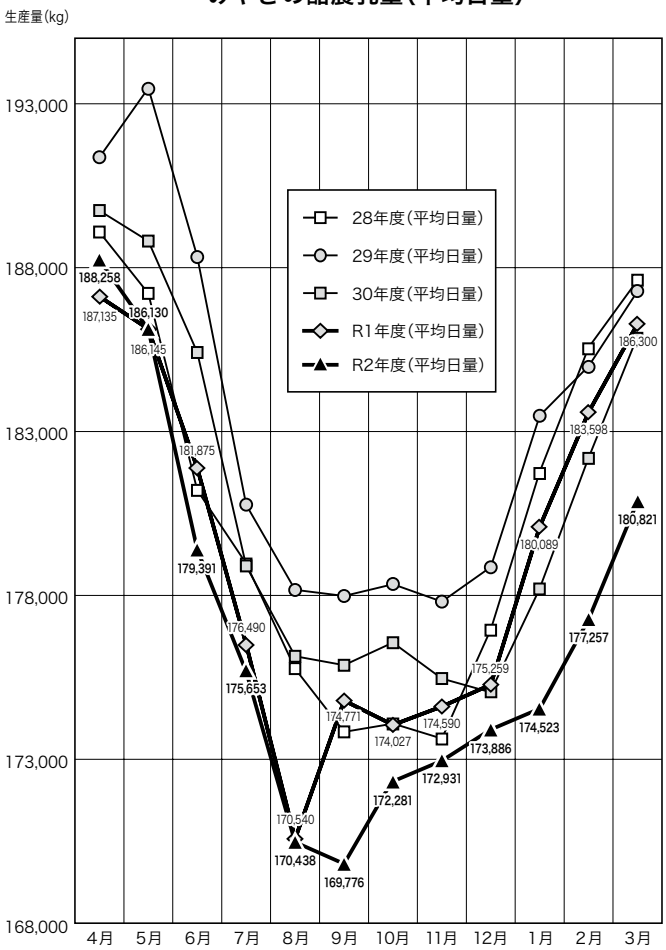
（単位：㌧、％）

団体名＼四半期別	第１四半期	前年比	第２四半期	前年比	第３四半期	前年比	第４四半期	前年比	令和２年度計	前年比
みやぎの酪農	16,765	99.8	15,767	98.9	15,831	98.6	15,946	96.1	64,309	98.3
全農宮城	4,380	107.6	4,142	110.1	4,144	107.5	4,304	101.7	16,970	106.6
宮城酪農	7,140	101.0	6,521	98.7	6,667	98.8	6,821	96.8	27,149	98.8
宮城県	28,285	101.2	26,430	100.5	26,642	99.9	27,071	97.1	108,428	99.7

5. みやぎの酪農（バルク乳量）

４月～３月の受託乳量は64,519㌧、前年同期比98.3％と1.7％減少しております。また、３月の出荷戸数は247戸と前年より10戸減少しております。

みやぎの酪農乳量（平均日量）



令和２年度生乳生産実績（４月～３月 標準進度率100％）

（単位：kg、％）

支部名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進度率
白石･七ヶ宿支部	25	8,900,244.5	9,126,722.6	97.52	8,855,779.0	100.50
蔵王支部	24	8,631,427.1	8,370,383.5	103.12	8,186,599.0	105.43
柴田支部	15	4,090,046.0	4,143,948.5	98.70	4,093,641.0	99.91
伊具支部	16	4,812,482.0	5,105,937.6	94.25	5,054,002.0	95.22
仙台支部	11	3,534,988.6	3,636,821.4	97.20	3,599,830.0	98.20
名取支部	6	820,431.0	935,863.0	87.67	926,344.0	88.57
黒川支部	7	1,065,976.0	1,270,664.0	83.89	1,257,739.0	84.75
大崎支部	18	3,422,979.0	3,341,503.0	102.44	3,307,516.0	103.49
遠田支部	16	6,346,539.0	6,466,808.0	98.14	6,401,031.0	99.15
加美支部	15	2,397,697.0	2,432,499.0	98.57	2,328,461.0	102.97
鳴子支部	9	2,046,989.0	2,164,055.0	94.59	2,114,532.0	96.81
栗原支部	30	6,331,600.0	6,132,555.0	103.25	6,033,995.0	104.93
登米支部	25	7,119,178.0	7,246,143.0	98.25	7,119,309.0	100.00
本吉支部	15	1,692,045.0	1,795,046.0	94.26	1,774,648.0	95.35
石巻支部	5	908,579.0	944,739.0	96.17	935,129.0	97.16
豊里支部	10	2,398,323.0	2,476,130.0	96.86	2,388,445.0	100.41
みやぎの酪農	247	64,519,524.2	65,589,818.6	98.37	64,377,000.0	100.22

※出荷戸数については、直近の数字です。

令和３年度　組合事業の内容について

販売課

● 生乳増産対策事業（継続）

目的：生乳生産基盤強化により、経営安定及び生乳の安定供給を行うため、生乳増産対策事業を実施します。

内容：今年度において、３ヶ年（平成30・令和１・２年度）の平均出荷乳量を上回った乳量に対して、10円/kgに増額させ奨励を行います。

● 良質乳生産奨励対策の実施（継続）

目的：消費者の「食の安全・安心」に対する関心の高まりから、組合として良質乳生産が求められているため、良質乳生産確保の観点から奨励金の交付を実施します。

内容：月２回の配分検査において、基準値を年間通してクリアした生産者に対し、出荷乳量に応じて、0.4円/kgを交付します。

● 乳質改善共励会の実施（継続）

目的：食品の安全確保に向けた取り組みが求められている中、酪農経営の安定を図り、新鮮で良質な生乳を乳業者に供給するとともに、生乳の広域流通にも対応し得る乳質向上により、生乳の有利販売に繋げることを目的に共励会を実施します。

内容：年間通して本組合に生乳を出荷している生産者で、バルク乳（４月１日から３月31日までの12ヶ月間）の検査成績により、下記の【配点表】による得点により審査する。また、生乳生産管理チェックシートを不備無く記帳し、販売不可能乳（廃棄事故）の発生がなく、牛舎環境の整理整頓がなされている事を要件とします。

【乳質改善共励会　配点表】

項　目	基　準	配点
細菌数	１万未満	10
	１万～３万未満	7
	３万～６万未満	5
	６万～10万未満	2
細胞数	10万未満	10
	10万～15万未満	7
	15万～20万未満	5
	20万～30万未満	2
脂肪率	4.0%以上	10
	3.9%～4.0%未満	7
	3.8%～3.9%未満	5
	3.5%～3.8%未満	2
無脂乳固形率	8.9%以上	10
	8.7%～8.9%未満	7
	8.5%～8.7%未満	5
	8.4%～8.5%未満	2

最優秀賞	１名	賞状・賞金　10万円
優秀賞	３名	賞状・賞金　７万円
優良賞	６名	賞状・賞金　５万円
努力賞		賞状・賞金　３万円

※賞金につきましては、金額相当の購買利用券を贈呈いたします。

※良質乳生産奨励対策、乳質改善共励会の乳質基準は、脂肪率3.5%以上・無脂固形率8.4%以上・細菌数10万/ml未満・細胞数30万/ml未満とします。

購買課

● 良質自給粗飼料生産確保対策（草地簡易更新事業）【継続】

目的：近年の猛暑、大雨、台風の自然災害の発生や、震災後の除染から数年経過しており裸地や雑草が増えている状況です。このことから良質な粗飼料の増産と確保、粗飼料基盤の強化を目的に事業を継続します。

内容：正組合員を対象に春と秋の２シーズンに簡易更新機の貸出を行います。
希望者が多い場合はまとまった面積のある方を優先いたします。
利用料は１ha当たり5,000円（税別）といたします。

● 購買品季節の支援対策【継続】

目的：夏場の猛暑による乳量の減少や乳質の悪化、また、冬場の寒さによる子牛の体調管理や事故防止を目的に、その季節に役立つ資材を紹介、供給します。

内容：夏場…重曹、ビタミンミネラル剤等のキャンペーン（５月～10月）
冬場…子牛用防寒着等のキャンペーン（11月～12月）

● 配合飼料利用に対する支援【拡充】

目的：配合飼料の大口利用者に対して供給量に応じた柔軟な奨励措置を行い、コスト削減による経営の安定を目的に支援します。

内容：組合から供給する乳配、育成、乾乳用配合の前月購入量に応じた奨励措置を行うものとします。

奨励単価（税別）　前月購入量　①５ｔ～10ｔ未満……500円
②10ｔ～15ｔ未満……800円
③15ｔ～25ｔ未満……1,000円
④25ｔ以上……1,500円

指導課

● 乳房炎ワクチン接種助成事業【継続】

目的：酪農家において乳房炎の発症は経営の損失が最も大きい疾病であることから、初妊牛へ乳房炎ワクチン接種を行い収益と乳質の向上を目的として実施します。

内容：初妊牛への乳房炎ワクチンを接種後、助成交付申請書等（分娩したことが確認できる書類）を組合へ提出してください。
１頭当たりの助成金額は3,000円といたします。

● 良質乳対策（バルク乳スクリーニング検査）【継続】

目的：近年、体細胞数による格差金が増額傾向にあります。この状況を軽減するため、バルク乳のスクリーニング検査を実施し、乳房炎対策を行うことで安定した収入の確保を実現するために実施します。

内容：年４回バルク乳の検体を採取し共済組合にてスクリーニング検査を実施します。
１回当たりの助成金額は1,000円といたします。

～事業の詳細については、各所までお問合せください～

支部・青年部・婦人部の活動について（お願い）

指導課

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、組合員皆さまの健康と生乳生産活動の維持を図ることを基本として、昨年度から支部･青年部･婦人部の活動自粛をお願いしております。

また、令和３年３月31日付けで支部長･青年部長･婦人部長の皆さまに、６月末までの活動自粛をお願いする文書を、重ねてご通知いたしました。感染防止のためご理解の程、宜しくお願いいたします。

酪農後継者等育成支援

指導課

本組合では、後継者就農促進等支援として就農祝金を贈呈しております。

令和２年度に就農された６名の方々をご紹介いたします。

【白石･七ヶ宿支部　佐藤　剛さん】
（経営者名　佐藤　良一さん）

【伊具支部　佐藤　涼さん】
（経営者名　佐藤　勝彦さん）

【名取支部　大本　牧子さん】
（経営者名　(株)布田牧場　布田達夫さん）

【仙台支部　渡邊　諒さん】
（経営者名　渡邊　勇樹さん）

【大崎支部　佐々木　駿さん】
（経営者名　佐々木　雄さん）

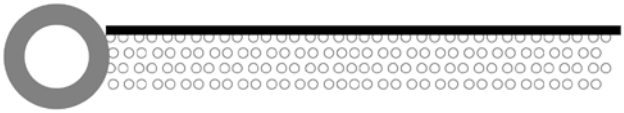
【栗原支部　小野寺　みさこさん】
（経営者名　小野寺　勝さん）

デントコーン栽培のポイントについて

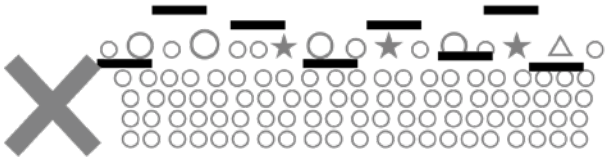
購買課

デントコーンの雑草対策について、除草剤利用のポイントをご紹介します。
土壌処理…土壌表面に薬剤の膜をつくり、雑草の芽が触れることにより効果を発揮します。
茎葉処理…雑草に直接かけることにより、雑草を枯殺させます。

土壌処理のポイント① 土壌処理剤の効果を発揮させるには、砕土と播種後の鎮圧が重要です。

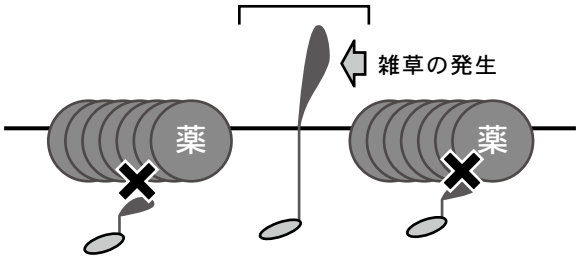


土を細かく、均一にすると皮膜も均一になる
⇒除草剤の効果が発揮されやすい。

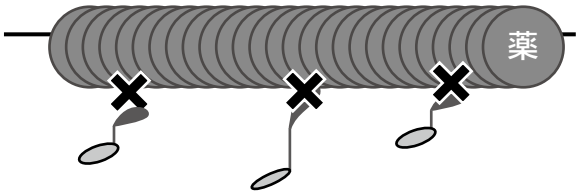


土壌表面が不均一（砕土・鎮圧不足）では皮膜も不均一になりやすい。
⇒除草剤の効果が発揮されにくく、雑草が発生しやすい。

土壌処理のポイント② 乾燥等で、土壌水分が不十分だと薬剤が均一に拡散できません。



水分が不十分だと皮膜に隙間ができ雑草が発生しやすい。



均一に拡散されると除草効果が発揮されやすい。

代表的な雑草と推奨する除草剤のご紹介

イチビ
・アルファード液剤
・シャドー水和剤の茎葉処理
・ベルベカット乳剤

キハマスゲ（コブシ）
・シャドー水和剤（球根まで枯らす）
・ワンホープ乳剤（地上部を枯らす）

ハリビユ
・ゲザノンゴールドの土壌処理
・アルファード液剤の茎葉処理

イヌホオズキ
・ゲザノンゴールドの土壌処理
・アルファード液剤の茎葉処理

ご不明な点がございましたら、各所購買担当までご連絡ください。

北米コンテナ船情勢

太平洋岸南西部の港の混雑は継続していて、直近でも本船は沖合到着後、出港までに20日前後を要しており、スケジュールの遅延は解消されそうにありません。ロングビーチ港では空コンテナの回漕率が前年２月の51％に比べ今年の２月は69％と上昇しており、船腹の逼迫度合は悪化しています。

太平洋岸北西部は経由地であるバンクーバー港での滞船は５日程ですが、主要港の混雑状況は変わらず、南西部同様平均１～２ヶ月程度の遅延が続いています。

船会社の多くは３月及び４月に海上運賃の一斉値上げを実施しており、５月も実施を予定している船社があるため、１コンテナあたり100～200ドル程度の更なる運賃上昇が見込まれています。

また、一部の船会社ではコンテナの回転率を上げるために、コンテナの保管期限や返却期限を短縮する動きがみられ、輸入牧草を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

輸入粗飼料

❶アルファルファ

(A)ワシントン産

主産地コロンビアベースンでの21年産の作付面積は昨年並みと予想され、順調に生育が続けば南部では５月上旬から収穫が開始される見込みです。一方、20年産の低級品在庫が存在するため、１番刈の価格次第では２番刈の収穫をせず、相場が高いトウモロコシや大豆へ転作が進む可能性があります。

(B)カリフォルニア産

南部のインペリアルバレーでは１番刈の収穫が終盤を迎えていて、見た目がよく、色鮮やかな上級品が発生しており、内需と中東、中国向けへの買付が行われています。燃料･肥料･人件費の生産コストの上昇に加え、トウモロコシ価格の上昇により、代替品として安価なタンパク源のアルファルファは需要が高まっており、前年同期より価格は上昇しています。

❷チモシー

(A)ＵＳ産

20年産は限定的だった上級品の価格が高騰したものの、中心となった中～低級品の相場は低迷したまま推移しているため、21年産の作付面積は前年と同程度～輪作の関係で微増と予想されています。

(B)カナダ産

ターミナルへのコンテナ搬入締切日の変更や、船腹予約の取り消しが頻発しており、既存のオーダーが予定通り出荷できていないため、製造スケジュールも逼迫して輸出業者は対応に追われています。顧客ごとに出荷制限を設けるなどの対応をしているようですが、混乱はまだ続きそうです。

❸豪州コンテナ船情勢

豪州航路でコンテナ不足は問題となっていませんが、従来航空便で運搬されていた果物等が減便によって船便へと転換されることにより、船腹の取り合いに拍車がかかり、シンガポール･マレーシア･釜山等の積替港の混雑も重なって多くの本船で２～３週間程度の遅延が発生しています。一部の船会社では３月に続いて今後も運賃の値上げを示唆しており、影響が懸念されています。

❹豪州産オーツヘイ

中国向け工場の輸出許可は大半が２月末に期限切れとなり、許可更新に関する豪中間の協議も進展が見られないため、中国向け輸出が滞っています。コロナウイルスにより直接現地視察ができないためという理由ですが、最近の豪中対立による中国側の圧力との見方が強く、生産者は需給の悪化を懸念し、21年産の作付けに頭を悩ませる状況となっています。

購買課

暑熱対策
添加物キャンペーンのお知らせ

気象庁の長期予報によると、今年の夏の気温は、平年並みかそれ以上で、６,７月はくもりや雨が多くなると予想されているため、湿度が高く蒸し暑い日が多くなると思われますので、ご自愛ください。

さて、今年も暑熱対策用添加物のキャンペーンを、５月から10月まで実施いたします。今年は昨年より品数を増やしてご提供させていただきます。ご利用よろしくお願いいたします。

キャンペーン対象

- **重曹製品**
- **ビタミン、ミネラル飼料**
- **暑熱対策用混合飼料**

※４月下旬に詳細を記したパンフレット等を配布させていただいておりますのでご確認ください。ご不明な点がございましたら、各所購買担当へお電話ください。

理事会通信

総務課

【第12回理事会】

開 催 日　令和３年３月29日

付議事項
- 第１号議案　令和２年度決算基準(案)について
- 第２号議案　総務委員会及び業務委員会からの答申について（令和３年度事業計画(案)について）
- 第３号議案　令和３年度借入金の最高限度の決定について
- 第４号議案　令和３年度貸付金の利率の最高限度の決定について
- 第５号議案　令和３年度同一人に対する信用供与(資金の貸付額、初妊牛リースの額、畜産環境整備リースの間接リースの額及び畜産近代化リースの額の合計額)の最高限度額の決定について
- 第６号議案　令和３年度の余裕金運用について
- 第７号議案　宮城県草地土壌放射性物質低減対策事業資金の返還について

【第１回理事会】

開 催 日　令和３年４月30日

付議事項
- 第１号議案　監事に提供する決算書類の承認について
- 第２号議案　一般資金の融資について

売りたし、買いたし

指導課

【機　械】

機械名　　トラクター
メーカー　　フォード
馬　　力　　62馬力程度（詳細不明）
価　　格　　500,000円
※年式が古い為、ご購入をお考えの方は、現車確認をお願いします。

【初妊牛】

No.	支　部	販売者	区　分	分娩予定日
1	蔵　王　支　部	小島　一也	交雑	8月13日
2	白石・七ヶ宿支部	高橋　敦子	性判別	8月13日
3	白石・七ヶ宿支部	高橋　敦子	性判別	8月19日
4	白石・七ヶ宿支部	高橋　敦子	性判別	9月17日
5	黒　川　支　部	高橋　　信	IVF（雄判別）	10月4日

［編集後記］

来月6月は牛乳月間です。消費者に「牛乳と酪農」への関心をもってもらう事を目的に、国連食糧農業機関（FAO）が2001年に、6月1日を「世界牛乳の日（World Milk Day）」と定められました。これからの季節は、熱中症対策としても牛乳を飲みましょう。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.（0229）34-2311（代表）